

I. 要 旨

- 回答した 71 の中央競技団体の 9 割にあたる 64 団体が競技者ないしチームの登録制度を有していた。
- 個人登録者が最も多いのはサッカー（92 万人）で、以下、バスケットボール（61 万人）、ソフトテニス（45 万人）、バレーボール（39 万人）、陸上（31 万人）の順であった。
- 71 団体の役職員の合計は 2,205 人であり、役員数が 1,428 人、役員を除く職員数が 777 人であった。正規職員数は 0 人の団体から 76 人の団体まで幅広く分布していた。
- 団体の予算（収入）は、71 団体の合計で 474 億 7,300 万円であり、1 団体平均 6 億 6,900 万円、中央値は 2 億 5,700 万円であった。
- 団体の予算の収入構成をみると、事業収入と競技者・団体からの収入の割合が高く、補助金・助成金や寄付金の割合は低かった。総収入が多い団体ほど、事業収入の割合が高い傾向がみられた。この結果は前回の調査（2010 年度）と同様であった。